

10. 景觀

10. 景観

(1) 調査対象地域

調査対象地域は、計画地周辺とする。

(2) 現況把握

ア. 現況把握項目

現況把握項目は、景観資源、構成要素、眺望の状況とする。

イ. 現況把握方法

現況把握は現地調査により行う。調査の方法は次のとおりである。

(ア) 調査項目

- ・景観資源、構成要素
- ・眺望の状況

(イ) 調査地点

調査地点及び項目は、表4.10.1に示すとおりである。また、調査地点を図4.10.1に示す。

表4.10.1 調査地点及び調査項目

No.	調査地点	調査項目	
		景観資源、構成要素	眺望の状況
—	計画地周辺地域	○	
1	中村公会堂		○
2	仁礼郵便局		○
3	仁礼町交差点		○
4	湯っ蔵んど		○

(ウ) 調査期間

調査期間は、表4.10.2に示すとおりである。

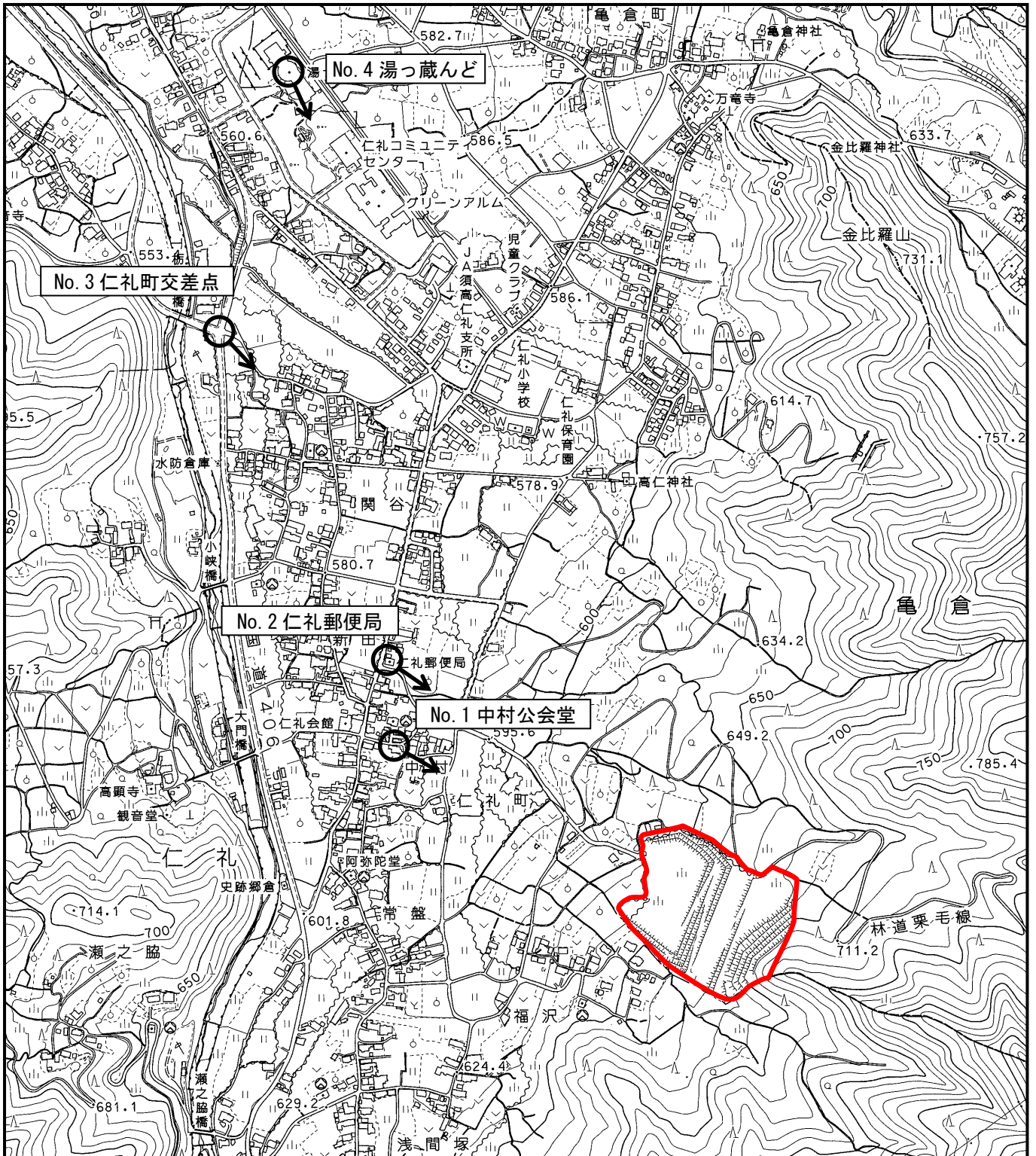
表4.10.2 調査期間

調査項目	調査期間
景観資源、構成要素	・落葉季：平成24年12月20日（木）
眺望の状況	・繁茂季：平成25年8月7日（水）

(エ) 調査方法

調査は、以下の点に留意して写真撮影により行う。

- ・撮影画角は、肉眼で見たときに近くなるよう、35～50mm（35mm換算）とする。
- ・各季の撮影は、同地点で同範囲を撮影する。



凡 例

計画地

➔ 調査地点

N

1 : 10,000

0 100m 200m 400m

図 4.10.1 景観調査地点

ウ. 調査結果

(ア) 景観資源、構成要素

計画地は、北東側、南東側、南西側の三方を山に囲まれ、北西側が扇状地となっている。扇状地は果樹園、水田、畑などの耕作地となっており、これらの耕作地と三方を囲む山により田園景観を構成している。

(イ) 眺望の状況

眺望の状況の調査結果を図4. 10. 2(1)～(10)に示す。



图4. 10. 2(1) No. 1中村公会堂（落葉季）



图4. 10. 2(2) No. 1中村公会堂（繁茂季）



図4.10.2(3) No. 2仁礼郵便局（落葉季）



図4.10.2(4) No. 2仁礼郵便局（繁茂季）



図4.10.2(5) No.3仁礼町交差点（落葉季）



※落葉季撮影時点では存在しなかった家屋が、繁茂季には計画地を隠すように新築されていたため、計画地が見通せる場所に撮影地点を移動した。

図4.10.2(6) No.3仁礼町交差点（繁茂季）



図4.10.2(7) No.4湯っ蔵んど(地上) (落葉季)



図4.10.2(8) No.4湯っ蔵んど(地上) (繁茂季)



図4. 10. 2(9) No. 4湯っ蔵んど（3階展望台）（落葉季）



図4. 10. 2(10) No. 4湯っ蔵んど（3階展望台）（繁茂季）

(3) 予測

ア. 存在・供用による影響

(ア) 最終処分場の存在に伴う景観への影響

a. 予測概要

(a) 予測項目

予測項目は、最終処分場の存在に伴う景観資源、構成要素への影響及び眺望の状況の変化とした。

(b) 予測範囲、地点

予測範囲は、計画地周辺地域とした。また、予測地点は現地調査地点とした。

(c) 予測対象時期

予測対象時期は、最終処分場の供用が定常的な状態となる時期とした。

(d) 予測方法

事業計画と現況調査結果の内容からの定性的な予測及びフォトモンタージュによる方法とした。

フォトモンタージュについて、計画地に比較的近く影響が大きいと考えられる中村公会堂及び仁礼郵便局は、落葉季及び繁茂季、他の地点は眺望される期間が長いと考えられる繁茂季について作成した。

b. 予測結果

(a) 眺望の状況

眺望の状況の変化の予測結果を図4.10.3(1)～(7)に示す。

(b) 景観資源、構成要素への影響

計画地は三方を山で囲まれており、埋立地は背後の山と一体となり景観構成要素への影響は小さいと考えるが、浸出水処理施設の建物が、新たな景観構成要素となり最終処分場との距離や角度によっては変化が生じると予測する。

現 況



将 来



注) 将来の写真の表現については、現時点でのイメージである。

現況では、計画地が背後の山と一体となっているが、将来は、埋立地は現況と同様に背後の山と一体となっているが、浸出水処理施設の建物が大きく視認されるようになり、眺望の変化が生じる。

図4. 10. 3 (1) 予測地点からの眺望の変化の状況 (No. 1中村公会堂 (落葉季))

現 況



将 来



注) 将来の写真の表現については、現時点でのイメージである。

落葉季と同様の眺望の変化がみられる。

図4. 10. 3 (2) 予測地点からの眺望の変化の状況 (No. 1中村公会堂 (繁茂季))

現 況



将 来



注) 将来の写真の表現については、現時点でのイメージである。

現況では、計画地が背後の山と一体となっているが、将来は、埋立地は現況と同様に背後の山と一体となっているが、浸出水処理施設の建物が視認されるようになり、眺望の変化が生じる。

図4.10.3(3) 予測地点からの眺望の変化の状況 (No. 2仁礼郵便局 (落葉季))

現 況



将 来



注) 将来の写真の表現については、現時点でのイメージである。

落葉季と同様の眺望の変化がみられる。

図4. 10. 3 (4) 予測地点からの眺望の変化の状況 (No. 2仁礼郵便局 (繁茂季))

現 況



将 来



注) 将来の写真の表現については、現時点でのイメージである。

現況では、計画地が背後の山と一体となっており、将来も、計画施設は現況と同様に背後の山と一体となり、眺望の変化はほとんどみられない。

図4.10.3(5) 予測地点からの眺望の変化の状況 (No.3仁礼町交差点(繁茂季))

現 況



将 来



注) 将来の写真の表現については、現時点でのイメージである。

現況では、計画地が背後の山と一体となっており、将来も、埋立地は現況と同様に背後の山と一体となり、浸出水処理施設の建物がわずかに視認されるが眺望の変化はほとんどみられない。

図4. 10. 3(6) 予測地点からの眺望の変化の状況 (No. 4湯っ蔵んど (地上) (繁茂季))

現 況



将 来



注) 将来の写真の表現については、現時点でのイメージである。

現況では、計画地が背後の山と一体となっており、将来も、埋立地は現況と同様に背後の山と一体となり、浸出水処理施設の建物が小さく視認されるが眺望の変化はほとんどみられない。

図4.10.3(7) 予測地点からの眺望の変化の状況 (No.4湯っ蔵んど(3階展望台)(繁茂季))

(4) 影響の分析

ア. 存在・供用による影響

(ア) 最終処分場の存在に伴う景観への影響

a. 影響の分析方法

(a) 影響の回避または低減に係る分析

最終処分場の存在に伴う景観への影響が、事業者により実行可能な範囲内でできる限り回避または低減されているかについて評価した。

b. 影響の分析結果

(a) 影響の回避または低減に係る分析

本事業では、以下に示す環境保全のための措置を講じる計画である。

- ・現況地形を最大限に利用した計画とする。
- ・周辺の景観と調和した施設となるよう、施設配置及び建物外観の色彩やデザイン、緑化等に配慮する。

以上のことから、事業者の実行可能な範囲内で事業に係る環境影響ができる限り低減されているものと評価する。

